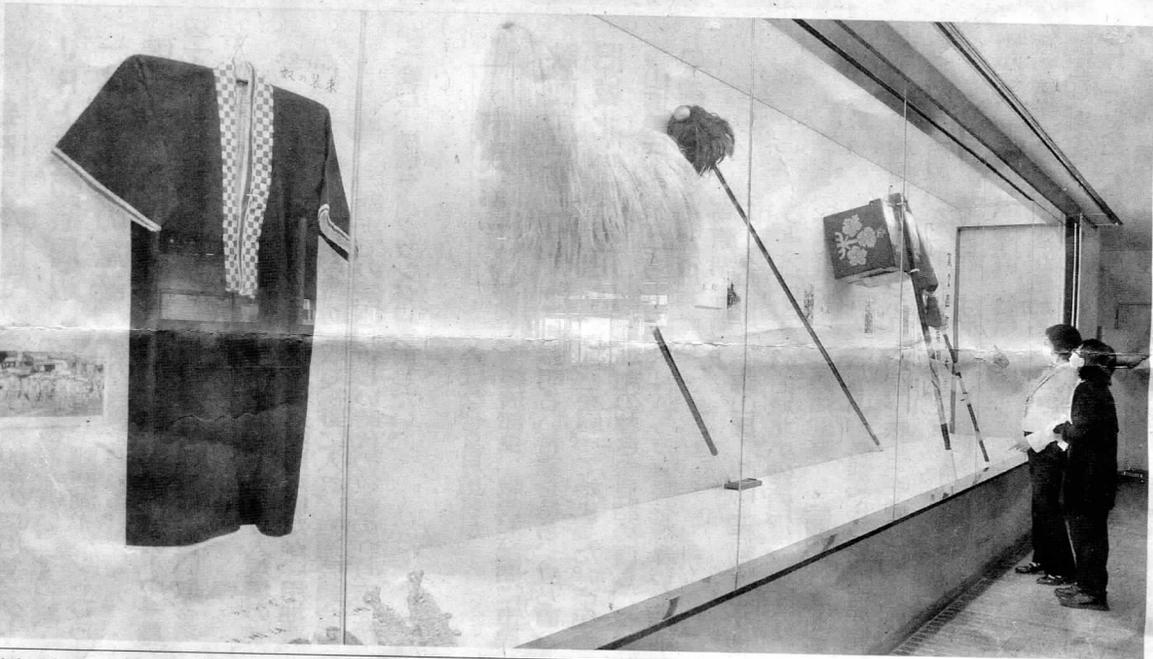


騎馬行列の衣装など並ぶ

総合文化センター「第三区凱旋騎馬道具」25日まで展示

下諏訪町の下諏訪総合文化センター1階ロビーで、「下諏訪町第三区凱旋騎馬道具」が展示されている。25日に同センターで開かれる第2回町民大学のテーマに合わせて企



画。昨年の御柱祭で奉納された騎馬行列で使用した色傘やお箱、お槍、赤熊などの道具や衣装などが並んでいる。25日まで。

第三区が継承する「凱旋騎

馬は、第一区の「出陣騎馬」

とともに1972年に町無形文化財に指定された。凱旋騎馬は戦いに勝った喜びを表す「横波」の動きで、衣装を派手にするのが特徴。一方

25日の町民大学に合わせて展示された「下諏訪町第三区凱旋騎馬道具」
下諏訪総合文化センター

で、出陣騎馬は出陣の士気を高める「立浪型」という上下の動きが特徴で衣装は地味にする。「出陣騎馬」の歴史は町広報「クローズアップしもすわ」7月号に特集予定。

今回の展示では、道具や衣装とともに、2016年の御柱祭で奉納された騎馬行列の写真も掲示し、実際に道具がどのように使用されているか分かるようにした。同町の故・田中とくさんが制作した騎馬行列の様子を再現した豆人形も展示している。

昨年の騎馬行列でお箱を担当した金丸純さん(38)は自身が使用した草履などを出品。「一番でしか見ることができない道具ばかり。実際に使われた道具を見て、伝統文化に興味を持ってもらえたら」と話した。

町民大学は25日午後1時30分から文化センター小ホールで、第三区騎馬委員会の元騎馬長、細川紀夫さんが「お騎馬の由来と構成」と題して講演する。聴講無料。